

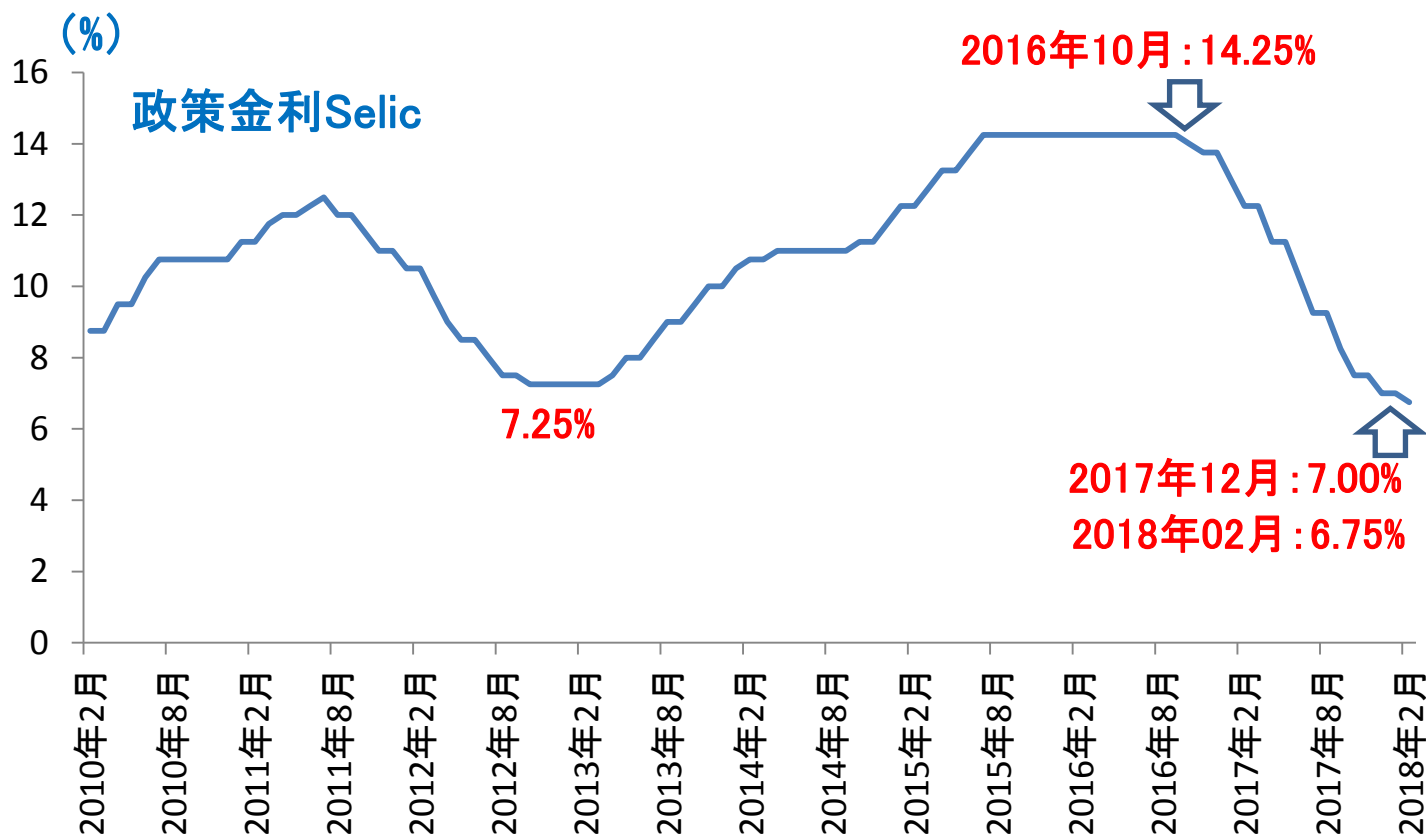
ブラジルレポート

為替・株式市場

	2月05日	2月06日	2月07日	17年末	16年末	15年末	14年末	13年末
為替レート(R\$/US\$)	3.23	3.26	3.24	3.30	3.25	3.96	2.65	2.34
株価【BOVESPA】(ポイント)	81,861	83,894	82,766	76,402	60,227	43,350	50,007	51,507

政策金利Selic・歴代最低値へ

- ・2月07日、ブラジル中央銀行・金融政策委員会(Copom)は政策金利Selicを7.00%→6.75%へと下げ(1年4ヶ月で14.25%→6.75%へ)、Selic制度の**歴代最低金利値を更新した**。
- ・金融政策委員会は、今回をもって利下げを停止する適切な段階だと判断している。同時に、財政健全化の行方等により経済にリスクを与えるような事があれば、方針の変更もあり得るともコメントしている。
- ・今回の利下げにつき、Temer大統領は国民に向け次のメッセージを送った：
 - 中央銀行の利下げ決定は各銀行にフォローされるだろう。ポピュリズム的性質のものではなく、国策の必要に応じて実施されたものである。
 - 金利が低下すれば、スーパーの品物の価格は上昇せず、生活もし易くなる。給料をもう少しエンジョイできる。
 - 政府はホームワークをきちんと実施、中央銀行が利下げをできる環境を整えた。国にとっては更なる投資へのインセンティブである。雇用を生むインセンティブである。

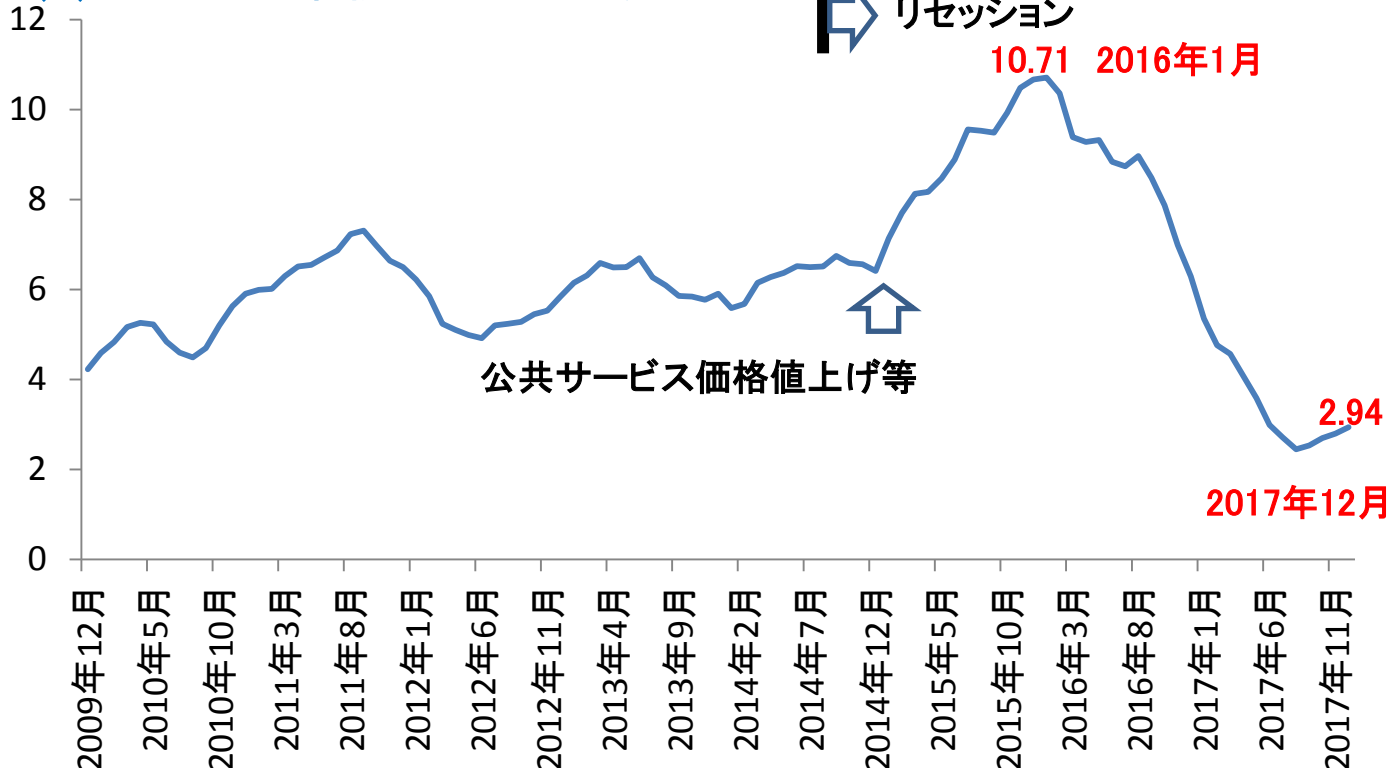




N3PLUS

・インフレをコントロールが利下げを可能にした。

(%) インフレ推移(IPCA 12ヶ月)

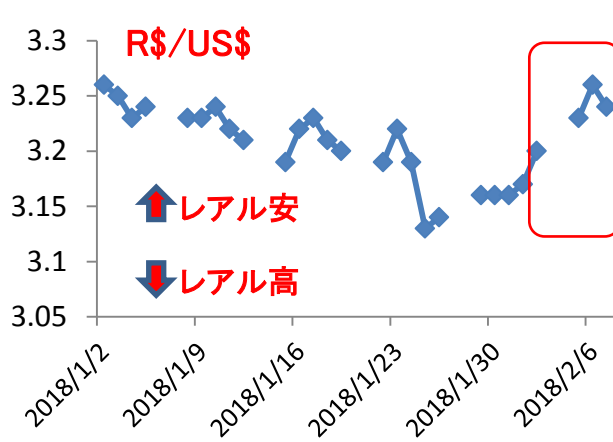
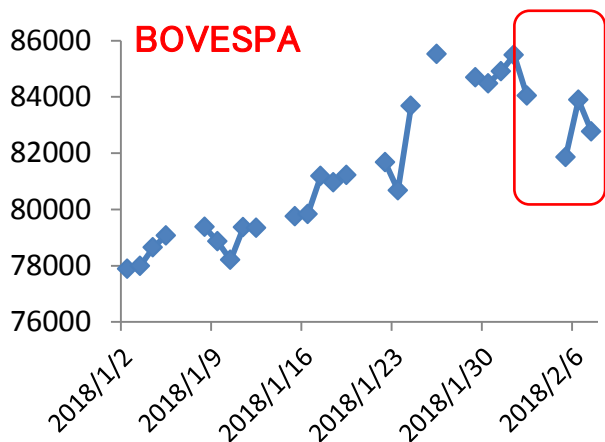


・今後の政治経済の注目ポイント

- ① 2月の年金改革法案の議会審議
- ② ムーディーズ等のブラジルソブリン格付け
- ③ 次期大統領立候補者の顔触れ(4月上旬:公職者の辞任期限)
- ④ ①~③は日本で一般的に言われている事項。しかし、「"feel good factor": 国民がいつ肌で経済が良くなってきた事を感じるか」が今後の政治動向に影響すると現地の一部のアナリストは注目している。

・2月5日: 米国株価下落の影響

2日→5日: 株価・BOVESPA指数: 84,041→81,861 (2.59%下落)



Meirelles財務大臣: 米株価が調整に入った出来事。ブラジル経済は順調。